



広陵町が AI（人工知能）を活用した予約型乗り合いバスを県内初導入 ～交通空白地を無くし、地域の人が「笑顔で出かけられるまち」へ～

■新たな移動手段「のるーと広陵元気号」

広陵町は、県内初の試みとして令和5年10月から人工知能（AI）を活用した予約型乗り合いバス「のるーと広陵元気号」（以下、「のるーと」）の有償運行を開始し、注目を集めている。これまでコミュニティバス「広陵元気号」が3路線を定時運行していたが、コロナ禍による利用者の減少もあり、路線を再編することとなった。再編に伴うアンケートでは「行きたいところに路線がない」「定時定路線運行だと町内を循環するので目的地まで時間がかかる」といった利用者の声が多かったため、町東部の駅への接続路線である中央幹線（近鉄大和高田駅に乗り入れる路線）のみを残し他の2路線を廃止し、代わりに「のるーと」の運行を開始した。同年7月からの3か月間で試験的に「のるーと」を無償運行したところ利用者が増加し、利用者へのアンケートでも以前と比較して便利になった、との声が多く聞かれた。担当課では「現在は利用状況も安定しており、必要な人に必要なものが届いたと感じている」と手ごたえを語る。

■ICTの活用で利便性の向上と外出機会の創出を目指す

従来のコミュニティバスとの大きな違いは運行方法にあり、「のるーと」は、利用したい時に即時に利用でき、時刻表も路線図もない（運行エリアのみ決まっている）。利用者は必要な時に専用アプリか電話で配車予約を行い、町内151ヵ所ある専用の乗降場所から乗降地を選択する。乗降場所に到着したバスに予約番号を伝え、運賃を支払

う。AIが予約状況に応じてリアルタイムに目的地への最短ルートと時間を算出し、バスに搭載されたタブレットに表示された経路を乗務員が確認し運行する。乗車予約は3日前から直前まで可能となっており、利用者は、乗車10分前になると、運行状況を専用アプリで確認することができる。担当課でも予約状況や運行状況を逐一管理しており、利用者の更なる利便性を考えたシステム改善にも速やかに対応できる。

こうしたスマートフォンを活用した予約システムやキャッシュレス決済、AIを使った最短経路の検索など、「のるーと」の運行が同町のMaaS構築の先駆けとなり、利便性の向上や高齢者の外出機会の創出につながる事が期待される。

■周辺地域と協力し「笑顔で出かけられるまち」へ

現在、駅への送迎に自家用車を利用する人が多く、慢性的な渋滞が起こっている。町では、公共交通機関の利用促進に取り組んでいるが、渋滞緩和など交通に関する課題は周辺地域との関係性も多く1つの自治体で解決することは難しい。「今後は、周辺地域とも協力しながら、住民にとってより便利で快適な公共交通サービスの提供を展開していくが必要になるので、「のるーと」がそのきっかけとなれば」と担当課では大きな期待を寄せている。

（村井 渚）



（左上から時計回りに）中央幹線を走るコミュニティバス「広陵元気号」/「のるーと」乗降場所の路面標示/AIを活用した予約型乗合バス「のるーと広陵元気号」



「のるーと広陵元気号」利用方法

①呼ぶ

②行く・待つ

③乗る

アプリまたは電話で配車予約

①乗る場所を降りる場所・乗車出発時間
※初回に登録が必要
※3日前から直前までの予約が可能

アプリでの予約

専用アプリ「のるーと」 24時間受付可能

電話での予約

0745(55)1005 受付時間：平日8:30～16:30(12月29～1月3日除く)

予約時間に乗り場へ行く。乗降乗降場所には路面標示か標柱の目印があります。

ドライバーに予約番号を伝えて乗車
※予約番号は事前登録した電話番号の下4桁

【お問い合わせ先】
広陵町役場企画総務部総合政策課 TEL：0745-55-1001